

## ベネッセの保育園、保育におけるスタッフの「専門性認定資格制度」を新設 ～高度な専門性を有する人財育成の強化へ～

株式会社ベネッセスタイルケアグループ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 CEO：小林 仁）のグループ会社である株式会社ベネッセスタイルケア（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：滝山 真也）は、2025 年度より、ベネッセの保育園で働くスタッフを対象とした「専門性認定資格制度」を新たに創設し、運用を開始しました。本制度は保育の高い専門性を可視化し、その専門性を有するスタッフを社内資格として認定します。保育の質のさらなる向上と保育園で働くスタッフのより幅広いキャリア形成を実現する新たな取り組みです。

### 【「専門性認定資格制度」の目的】

本制度では、ベネッセの保育の事業メッセージである「その子らしく、伸びていく。」を実現するために大切にしている「こども支援」「家庭・地域支援」「食事・食育」「安全衛生」の4つの分野において、特に専門性の高い領域を資格として設定し、その領域に長けているスタッフの思考や行動を可視化します。資格取得を通して、可視化された思考や行動をより多くのスタッフが学び、根拠を持って保育を実践し、その実践を言語化できる人財となることで、さらなる保育の専門性と質の向上につなげます。また認定者には、保育の質向上に大きく寄与するスタッフとして待遇にも還元します。

今回の「専門性認定資格制度」の新設によって、これまでの等級制度と役割任命制度に加え、新たなキャリア形成の機会を創出しています。

### 【初年度（2025 年度）の認定資格】

「こども支援」の分野から、ベネッセの保育園の特長である『異年齢保育（幼児）』を認定資格とし、5 名の認定者が誕生しました。資格要件である「3~5 歳児の異年齢保育において、こどもが夢中で遊びこむことを実現できる専門性」が認められ、認定されました。

### 【認定までの流れ（2025 年度）】

3 日間にわたる研修で講師による講義・自園での実践の言語化を行った後、以下の認定試験を実施。

認定試験①：保育現場での実践内容を確認（実地評価）

認定試験②：実践事例のプレゼンテーション、課題事例の考察（レポート提出）

認定試験①・②ともに基準を満たした場合に、資格認定。

ベネッセの保育園では本制度を通じ、スタッフの専門性をより高めることで保育の質のさらなる向上に努め、保護者の方に安心を提供してまいります。またスタッフが「学び続ける専門職」として成長できる環境を提供し、安心して長く働ける職場づくりを進めます。

今後も「その子らしく、伸びていく。」の実現に向け、「子どもの成長」と「スタッフの成長」の両立に取り組んでまいります。



#### <ベネッセスタイルケアグループについて>

ベネッセグループでは、不变の企業哲学「Benesse (=よく生きる)」の元、30年以上にわたり、入居・在宅介護事業、保育・学童事業を通じてその方らしさに深く寄りそい、お一人おひとりの「よく生きる」の実現に取り組んでいます。急速に進む少子高齢化と介護人材不足などの介護・保育を取り巻く環境の大きな変化の中でも、誰もが人生の節目を楽しみながら、自分らしく豊かに生きられる世界を実現できるよう、介護・保育領域を中心とした「人」に関わる社会課題に今まで以上に積極的に挑戦を続けていきます。持続可能な介護・保育事業の推進のほか、介護食事業・介護 HR 事業の取り組み、さらに働き手が不足する日本における介護・育児と仕事との両立支援サービス等、社会課題の解決に向けた取り組みを一層加速させていきます。

(ベネッセスタイルケアグループ企業サイト <https://benesse-scg.co.jp/>)